

重要物資の国際比価

(3月末現在)

第 1 表

(注) 括弧内は前月比騰落

品 目	単位	区 分	日 本		米 国	英 国	そ の 他	
			邦 貨 建	外 貨 建				
織 維	綿 糸(20 番手)	封度	M	¥ 188.8	¢ 52.4(+0.6)	¢64.0~65.0 (-1.0~0)	¢ 62.5(+0.2)	¢ホンコン42.1(-1.0)
			E	190.0	53.0(0)			ベネチア57.7(+0.4)
	綿織物(2003)	碼	M	57.25	15.9(-0.4)	18.25(-0.25)		ホンコン14.1(-0.2)
			E	52.6	14.6(0)			
	人絹糸(ビス120D)	封度	M	210.0	58.3(-4.5)	91.0(+1.9)	70.0(+7.1)	イタリア70.8(0)
E	187.2		52.0(0)					
スフ糸(30 番手)	"	E	122.0	33.9(+1.7)	75.7(0)	62.3(+1.3)		
鉄 鋼	鉄鉄(鋳物用 2号)	屯	Q	30,850	\$ 85.7(-0.4)	\$ 63.5(+1.7)	\$ 50.0(0)	ベルギー 72.0(0)
			E	47,500	131.9(-0.6)	111.9(0)	97.7(0)	フランス 63.1(0)
	棒 鋼(19 ミリ)	"	Q	65,000	180.6(-5.5)	123.2(0)	124.3(0)	ベルギー 110.0(0)
			E	61,500	170.8(0)			西ドイツ 95.0(0)
	厚 板(12 ミリ)	"	Q	54,500	151.4(-0.5)	107.3(0)	104.1(0)	ブラジル 118.0(0)
薄 板(1.6 ミリ)	"	Q	62,500	173.6(-0.6)	103.0(0)	110.1(0)	西ドイツ 117.0(0)	
非 鉄 金 属	電 気 銅	封度	Q	147	¢ 40.8(0)	¢ 32.0(0)	¢ 30.2(-0.6)	¢ベルギー 30.4(-0.5)
			M	149	41.5(-2.7)	29.9(+0.2)		
	電 気 亜 鉛	"	Q	64	17.9(0)	15.8(0)	M14.1(0)	Mメキシコ 14.3(+0.3)
	電 錫	"	Q	50~59	14.0~16.4(0)	14.0(0)	M12.3(+0.1)	Mメキシコ 11.5(-0.8)
	アルミ地金	"	Q	367	102.1(+1.3)	97.5(+1.0)	97.1(+2.0)	シンガポール 94.7(+2.6)
セメント	屯	E	7,000	\$ 19.4(+1.1)		\$ 13.5(0)	西ドイツ 16.5(0)	
化学製品	苛性ソーダ(固型)	屯	E	19,440	54.0(0)	\$ 35.5(0)	83.0(0)	西ドイツ 34.3~48.4
	レーヨンパルプ	屯	Q	80,799	224.4~226.6(0)	CIF 209.0(0)		イタリア 48.4(0)
	アンモニア	屯	E	~81,571				カナダ CIF 200.0(0)
動植物製品	大豆原油	ドラム	M	27,200	75.6(-2.2)	55.6(-2.5)	58.0(-1.0)	シンガポール 28.7(+1.0)
	生ゴム(RSS3号)	封度	M	105	¢ 29.2(+0.6)	¢ 31.0(+0.5)	¢31.2(+0.6)	
	原皮(牛)	"	M	84	23.3(0)	15.5~16.5(+1.0)		
燃料	石炭(粘結炭)	屯	M	7,050	\$ 19.6(0)	\$ 12.9(0)		\$ フランス 27.4(0)
	重油(C)	トン	M	13,150	36.5(0)	C&F 33.9(-0.5)		

備 考

1. 区分欄、Qは建値、Mは市中価格、Eは輸出価格。

2. 織 維

- (1) 海外価格はロイター電による。
- (2) ホンコン綿糸は2003番相当のもの。
- (3) 人絹糸海外価格は150D価格を採用(わが国での150Dの生産取引はきん少)。
- (4) 英国のスフ糸は36番手単糸綿紡式によるもの。

3. 鉄 鋼

- (1) 日本のQ(生産者価格)は鉄鉄では富士製鉄3月積建値、鋼材では八幡製鉄5.6月積建値より全国平均運賃鉄鉄1,150円、鋼材1,500円をそれぞれ差引いて算出。
- (2) 海外は鉄鉄
ベルギー 鋳物用高磷鉄ミユツソン(基準地)渡し
フランス " ロンダイ(")
英 国 ベーシック鉄

(3) 英国は公示価格より同国平均運賃を差引いて算出。

(4) 米国はU.S スチール社発表値。

(5) 西ドイツは公示価格から取引税4%を差引いた。

(6) 厚板は米国、英国9~38ミリ、ブラジル4.7ミリ超。

(7) 薄板は米国1.7ミリ、英国3ミリ以下、西ドイツ、フランスには

寸法ニキストラそれぞれ7.93ドル、4.35ドルを加算。

なおフランスは2月よりモンメデイ(基準地)渡し。

4. 非 鉄 金 属

- (1) アルミの国内建値は精錬業者販売価格。
- (2) 亜鉛、アルミ国内建値の安値は輸出原材料向け特価。

5. セメント

フランスは包装代を含まない。

6. 化学製品

- (1) 苛性ソーダはアンモニア法製品価格。
- (2) レーヨンパルプ国内価格は1~6月期建値。
海外価格はCIF外国船積価格。

7. 動植物製品

- (1) 生ゴムの英相場はRSS1号。
- (2) 米国原皮銘柄バックカースライト紐着現物相場、国内相場は取引単位が枚数のため概算。

8. 燃 料

- (1) 内外とも約8,000cal 国内炭は本州特定製鋼所向け31年度下期直売炭価。
- (2) 重油の海外価格—米国はニューヨークタンク車価格、フランスは重質 No. 2 精製工場渡し、わが国は大手筋鉄鋼メーカーの購入価格。

第 2 表

海外価格を 100 とするわが国価格指数の推移

品 目	区分	基 準 国	28年9月	29年9月	30年9月	31年9月	31年12月	32年1月	32年2月	32年3月
綿 糸	M	米 国	105.3	90.5	83.9	91.2~92.7	84.6~85.9	81.6~82.9	79.7	80.6~81.9
綿 織 物	M	"	102.5	86.2	84.8	93.3	90.3~90.9	92.3	88.2	87.1
人 絹 糸	M	イ タ リ ア	91.9	66.7	65.5	90.3	84.2	76.7	88.7	82.3
ス フ 糸	M	英 国	74.2	57.5	59.7	66.2	62.1	61.5	52.8	54.4
棒 鋼	Q	ベ ル ギ ー	117.2	89.4	108.6	120.4	128.6	120.5	120.5	119.9
厚 板	Q	西 ド イ ツ	107.1	91.2	108.3	128.6	129.8	129.8	129.8	129.4
電 気 銅	Q	米 国	135.0	126.9	102.0	116.5	119.2	119.2	127.5	127.5
硫 安	E	西 ド イ ツ	126.2	118.4	115.1	117.0	119.4	129.3	111.6~157.4	111.6~157.4
苛 性 ソ ー ダ	M	英 国	179.1	136.9	134.1	162.1	159.8	160.6	160.6	160.6
レ ー ヨ ン パ ル プ	Q	カ ナ ダ	123.4	116.8	115.4	112.2~113.3	112.2~113.3	112.2~113.3	112.2~113.3	112.2~113.3
大 豆 原 油	M	米 国	121.0	182.9	185.3	148.3	146.9	136.5	133.9	136.0
生 ゴ ム	M	シ ン ガ ポ ー ル	115.1	115.0	110.9	100.7	103.5	105.6	103.3	101.7
原 皮	M	米 国	172.3	149.4	138.9	124.6~136.3	158.6~170.4	155.2	150.3~160.7	141.2~150.3
卸 売 物 価 指 数	{	米 国	141.0	136.0	133.4	138.5	139.4	139.2	138.9	—
		西 ド イ ツ	130.8	126.1	122.5	129.1	130.0	128.4	—	—

(注) 備考は第 1 表に準ず。卸売物価指数は昭和 25 年 6 月基準指数の比較。

解 説

年初来総じて軟調気味に推移してきた海外商品市況は、3月に入るも格別大きな変化をみせなかつたが、一部にはようやく下げ渋りないしは反発したのもみられた。すなわち主要国際商品についてみると、小麦、大豆油などが続落、鉄鋼も引続き需給緩和をみたほか、前月値上りした砂糖も反落、また海上運賃も依然軟落歩調をたどつた。しかし、この間近来軟化の著しがつた銅は下げ止り、羊毛、錫、ゴムも小反発、さらに繊維は強調をすら呈するに至つた。このような情勢を映じて、英国ロイターおよび米国ダウジョーンズ両国際商品相場指数は、引続きそれぞれ 1.6%、0.6% の低落をみせたが、前月のそれ (2.2%、1.0%) に比すれば落勢はかなり鈍化した。

一方わが国では、前月反発した鉄鋼市中相場が輸入関税の免除や海外相場の軟調に反落、人絹糸、銅、鉛の市中相場も続落したが、海外相場に敏感な錫、生ゴムは小反発、セメント、木材など建築材もまた続伸するなど硬軟区々の様相をみせ、結局卸売物価指数は前月と保合つた。

このような内外市況の動向から、国際比価関係も商品により区々な動きを示し、大勢としては悪

化傾向を続けながらも、スフ糸を除く繊維、鉄鋼、銅、鉛などにつき若干の改善がみられた。もつともこの場合も、鉄鋼は市中相場についてであつて輸出価格ではむしろ悪化を示しており、また銅についてもわが国の値下りが海外に比しズレて現われた事情を考慮しておく必要があろう。

(1) 織 維

海外相場は香港ならびに米国の綿糸、綿織物をのぞき、おおむね値上りの傾向を示した。ことに英国の人絹糸はコスト上昇を主因にかなりの騰貴をみせた。

これに対し国内では、増産と内外需の停滞から引続き需給緩和の傾向を強め、相場も軟調模様に移した。ただスフ糸については操短勧告の決定を契機に底固い動きに転じ、相場は月中わずかながら上昇をみせた。

この結果、国際比価関係はスフ糸をのぞき引続き割安の幅を拡大した。なお、国内価格と輸出価格の関係については、各繊維とも輸出価格が横ばいに推移したのに対し、国内価格は人絹糸、綿織物が下落、一方綿糸、スフ糸は微騰したため、人絹糸、綿織物については国内価格の割高幅が縮小され、逆に綿糸、スフ糸については国内価格の割安の幅が縮小された。

(2) 鉄 鋼

海外鉄鋼市況は米国中心に引続き落調をみせている。すなわち米国では棒鋼、薄板、線材製品、亜鉛鉄板の需給事情が一段と緩和し、製鋼操業率も94%と前月をさらに2%下回り、くず鉄相場も45ドル83セント前月比6ドル34セント下落した。このような情勢から、U. S. Steel のブラウ会長も、本年下期の鉄鋼市況の見通しについて、今までほど楽観的ではなくなつたと表明するに至り、注目をひいている。また欧州諸国においても、英国では本年中には薄板500千トンの輸出余力を生ずるであろうといわれている状況であり、またシェーマンプラン加盟国でも需給緩和が伝えられ、輸出実勢価格は棒鋼、山形鋼、線材、厚板など大部分の品種がトン当たり2ドル程度の下押しをみせている。

これに対し、わが国市中相場は、釘、針金、亜鉛鉄板などの二次製品は農村筋の需要増から続伸したが、月央後はようやく上げ止まり、棒鋼、薄板、厚板などの一次製品は輸入関税の免除、生産の好調および海外の軟調を映じてやや軟化した。したがって、国際比価関係は国内価格の比較では、わが国の従来の割高幅がわずかながら縮小された。しかし輸出価格比較では、海外の値下りの幅が大きかつたため、わが国の割高が一段と目立つてきた。

(3) 非 鉄

年初来総じて弱含みに推移してきた海外市況は、3月に入つてようやく落着きの色をみせ、とくに値下りの著しかつた銅も、チリーおよびローデシア鉱山におけるスト気配、米国大手メーカーの操

短などから下げ止まり、錫については国際錫協定の最低価格引上げを好感して久方ぶりに反発をすらしめた。

一方わが国では、海外相場に敏感な錫が小反発したものの、その他については全鉱連ストや電力制限の影響も軽微に止まり、建値はいずれもすえ置かれたものの、銅、鉛の市中相場は輸入物の継続的入荷に引続き軟化、亜鉛のそれも弱含みに推移した。

したがって国際比価関係は、銅、鉛などの国内市中相場につきやや割高の幅を縮小したが、その他にはとくに大きな変化がみられなかつた。

(4) その他の商品

セメント国内相場は引続く内外需の活況に続伸したが、海外相場は欧州筋では保合いながら、米国ではコスト上昇と一時的需給ひつ迫に大幅な値上りをみたと伝えられており、割安の幅が拡大した模様である。原皮も国内相場は強含みながら保合つた反面、海外は季節的品がすれとフレイト高見越しによる船積増加から微騰したため、割高幅をわずかながら縮小した。また生ゴムはインドネシア政情不安をはやして内外ともに小反発、大豆油国内相場は菜種油出回り期入りに、海外相場は原料大豆の豊作予想にそれぞれ微落、苛性ソーダ、レーヨンパルプなど化学製品は内外ともに保合いを示し、いずれも国際比価関係に格別の変化がみられなかつた。しかし、石炭は炭労ストにより海外に比し一段と強調を示し、硫安も内外ともに保合いながら、わが国では需要増加に引締め気味に推移したため、国際比価関係は悪化の方向をたどつた。